

2021年3月期 第2四半期

決算説明資料

2020年11月6日

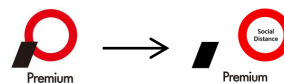
【東証一部 7199】 プレミアグループ株式会社

① 2021年3月期 第2四半期決算概要

② 外部環境の影響について

③ APPENDIX

① 2021年3月期 第2四半期決算概要



- ✓ 自動車マーケットはコロナ影響による落ち込みから**回復傾向**も、当社取扱高は、前年の消費増税等による**特殊要因**、および1Qの営業自粛による**新規開拓活動減**が影響し、前年比マイナス。ただし、ストックビジネスの強みにより営業収益は**右肩上がり**に伸長。

マーケット

- **新車登録台数 前年同期比 76.0%** / **中古車登録台数 前年同期比 96.8%**
新車・中古車ともに、マーケットは第1四半期を底に回復基調へ (一般社団法人 日本自動車販売協会連合会 統計データより)

業績

- **営業収益 83.9億円** (前年同期比 **126.0%**)
クレジット・故障保証ともに、コロナ禍でも順調に増収を維持
- **将来収益 (繰延収益) 280.0億円** をBSにストック (前年同期比 **116.5%**)
クレジット 230.9億円、故障保証 47.1億円、その他 2.0億円

KPI

- **前年2Qの特殊要因 (消費増税影響等) の影響で、取扱高は前年を下回るも概ね想定通りで推移**
クレジット取扱高 前年同期比 84.5% (特殊要因除く前年同期比: 99.1%)
故障保証取扱高 前年同期比 99.9% (特殊要因除く前年同期比: 107.8%)

TOPICS

- **10月2日に故障保証分野の統括会社として **プレミアワランティサービス株式会社** を設置**
故障保証事業のノウハウを一元化し、認知度向上及びマーケットの拡大に注力

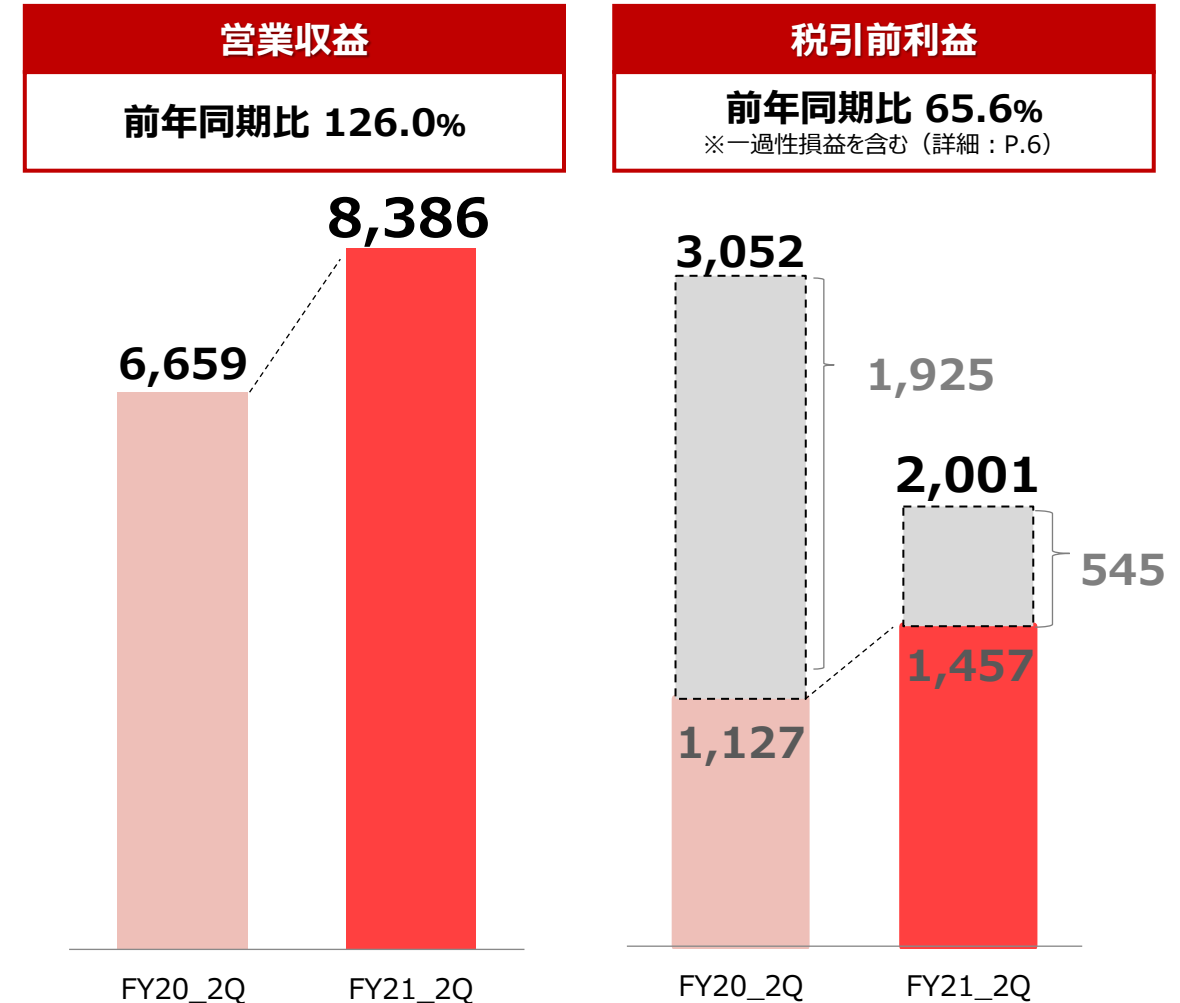
2021年3月期 第2四半期 連結業績

(表・グラフ単位：百万円)



- ✓ 事業伸長によるストック(将来収益)の戻入れにより営業収益は、83.9億円（前年同期比 126.0%）
- ✓ 一過性要因を除く本業に係る税引前利益は、14.6億円（前年同期比 129.3%）

	2020年3月期 2Q累計	2021年3月期 2Q累計	前年同期比
営業収益	6,659	8,386	126.0%
その他の収益	2,095	625	29.8%
営業費用	5,742	6,944	120.9%
税引前利益	3,052	2,001	65.6%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	1,845	1,313	71.2%
基本的1株当たり 当期利益（円）	139.77	102.89	73.6%

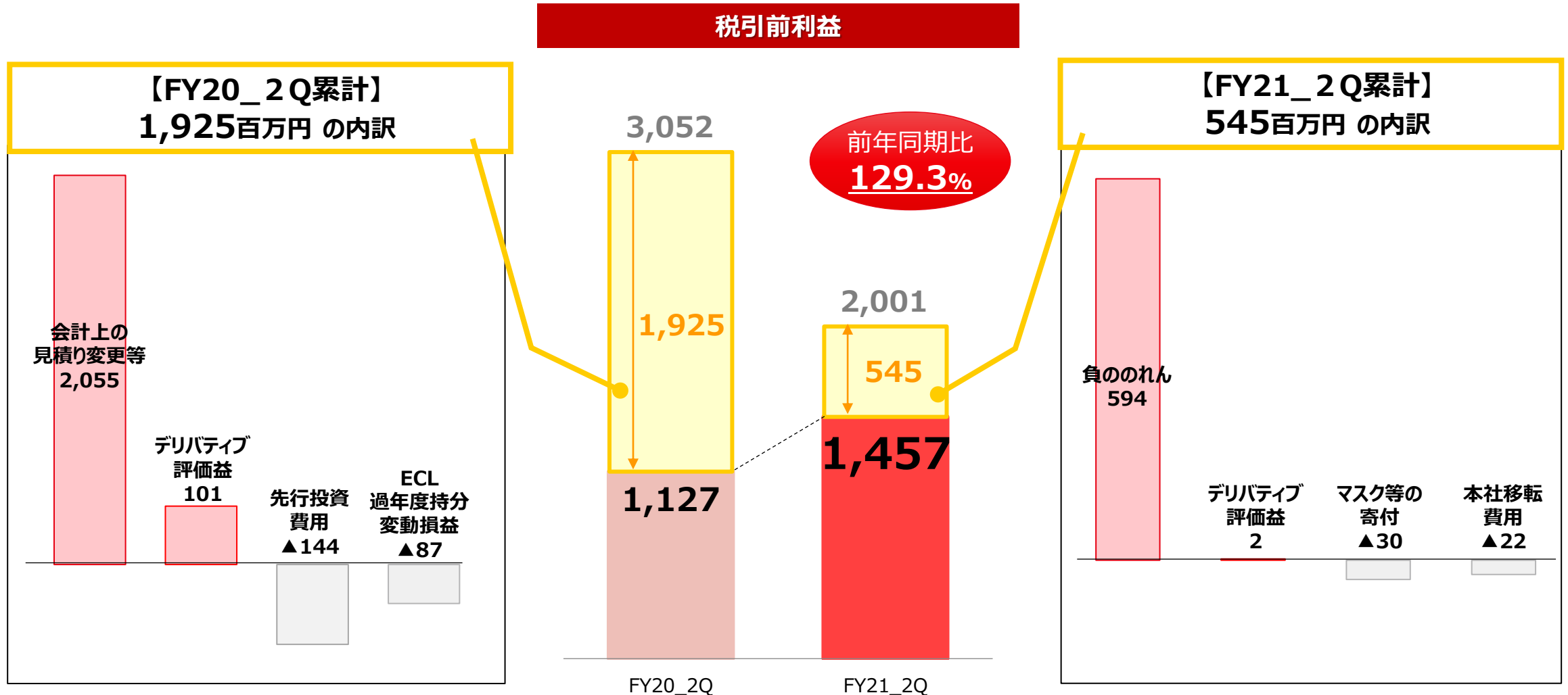


本業に係る税引前利益について

(グラフ単位：百万円)



- ✓ 一過性損益として、前期19.3億円、今期5.5億円を計上
- ✓ 本業に係る税引前利益は、前期11.3億円、今期14.6億円へと増加し、前年同期比 129.3%



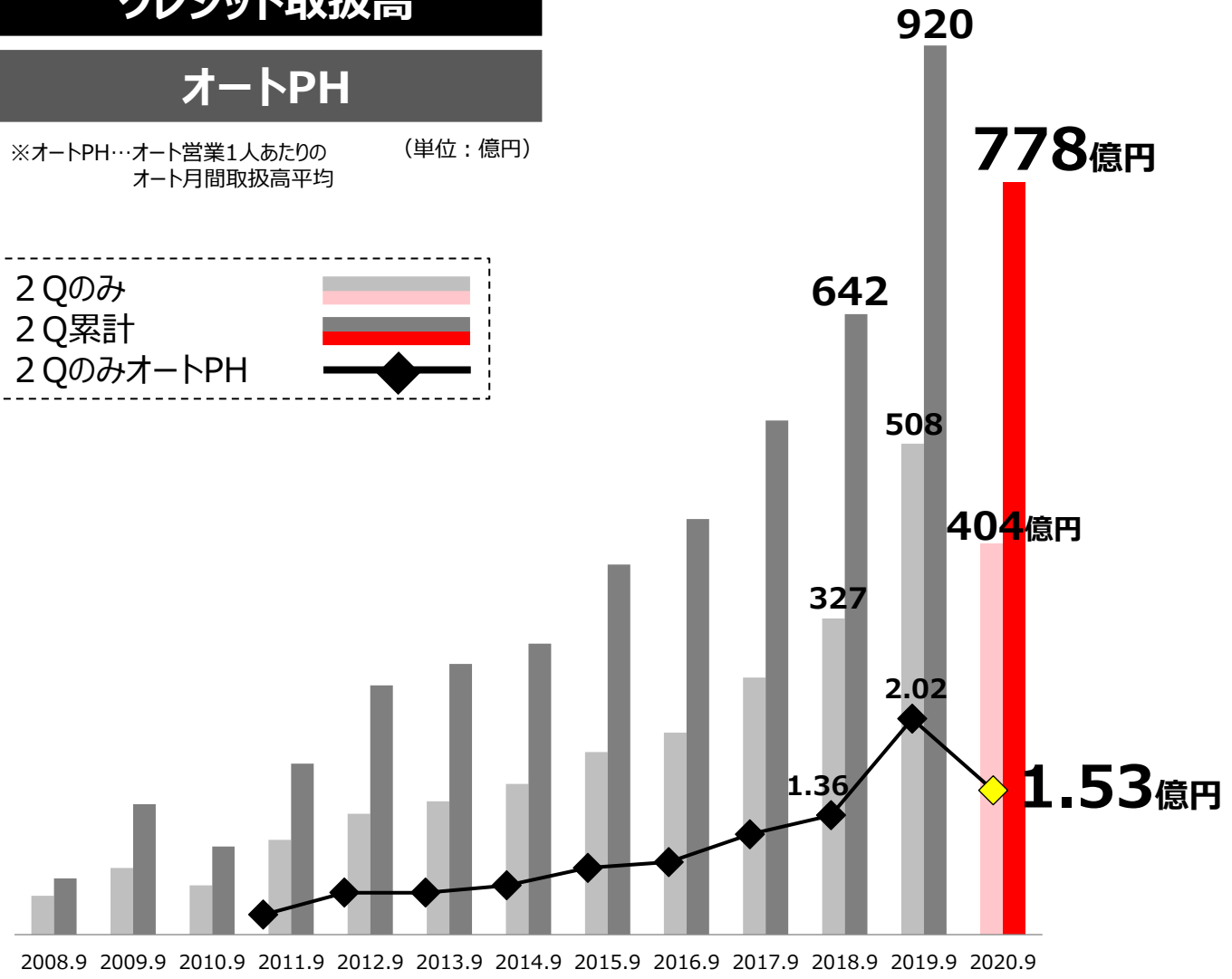
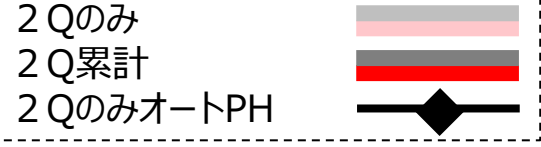
ファイナンス事業 クレジット取扱高推移



クレジット取扱高

オートPH

※オートPH…オート営業1人あたりの
オート月間取扱高平均 (単位：億円)



クレジット取扱高
前年同期比

84.5%

クレジット粗利額
前年同期比

95.6%

クレジット取扱高
上期予想

86.1%

クレジット取扱高
下期予想

100.0%

増減要因

- コロナ禍の営業活動自粛からの回復に遅れ
※オート営業人員 82名体制（前年同期：80名）採用活動は2Qより再開
- 新車登録台数の落ち込みによる、中古車卸売相場高騰が中古車小売に影響
- 前2Qの特殊要因（消費増税等）により前年比マイナス増税影響等を除く前年同期比：99.1%

戦略

- 審査レベルを落とさず、債権内容の「質」を重視、収益率（粗利額）の維持・向上は継続
- DX化推進
※契約書ペーパーレス化、自動審査の高度化、加盟店向けポータルサイトリリース等
- 自動車販売店向け会員制サービス「Premium Club」
会員募集開始、新たなマネタイズの確立へ

(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約金額、及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。
2. PHとは、オート営業人員1人あたりの月間取扱高平均をいいます。月間取扱高とは、1ヶ月の間に新たに締結したオートのクレジット契約金額あるいは保証契約金額の総額をいい、クレジット契約金額とは、商品代金残金及び分割払手数料の合計額をいいます。なお、PHはプレミア(株)の実績です。

クレジット債権残高

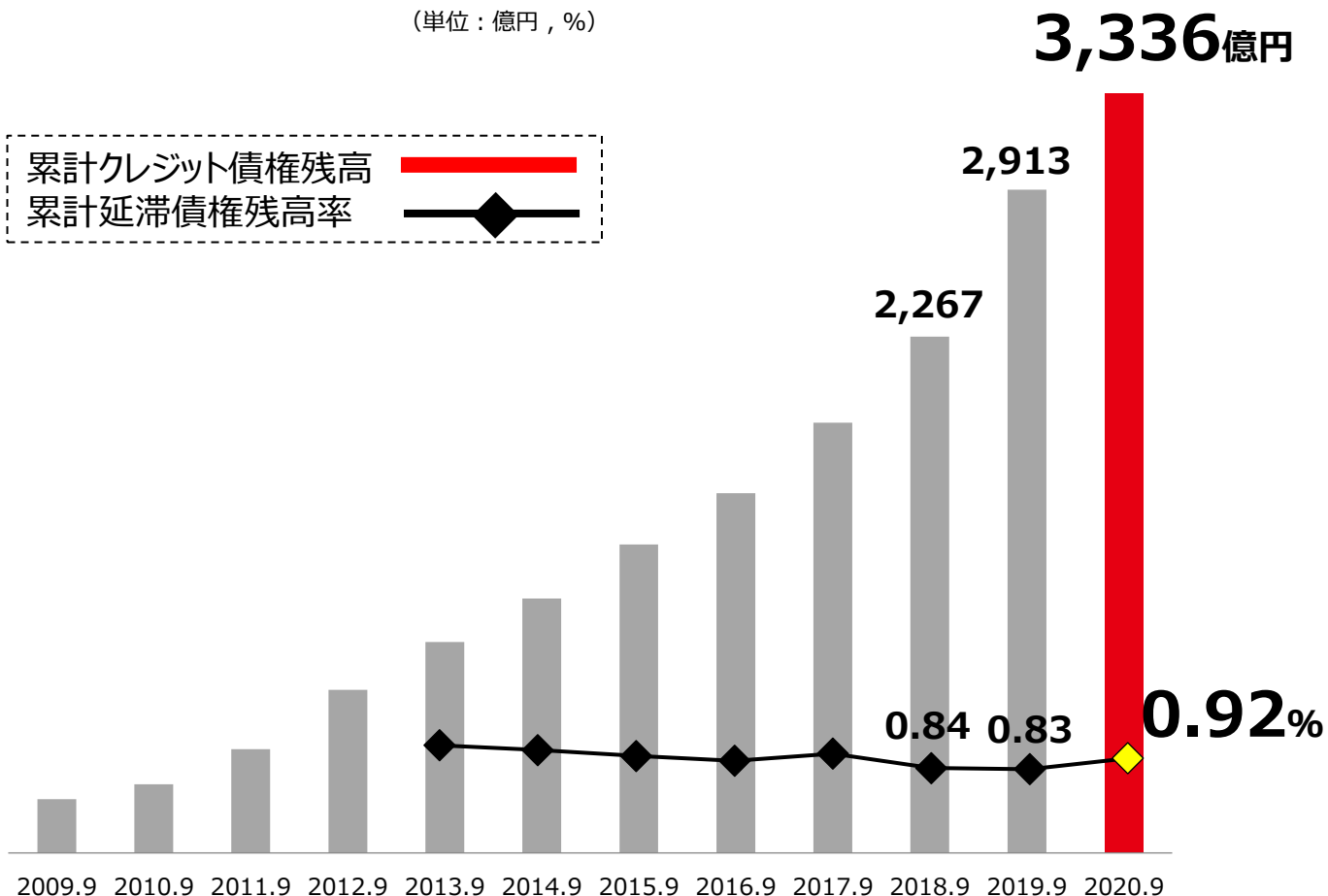
延滞債権残高率 (3ヶ月超)

(単位: 億円, %)

累計クレジット債権残高



累計延滞債権残高率



クレジット債権残高 前年同期比

114.5%

延滞債権残高率

0.92%

増減要因

- コロナ禍での裁判所の業務停止(4~5月)により長期延滞債権の回収活動に遅れが発生、かつ、取扱高の落込みにより債権残高の伸びが鈍化し、延滞債権残高率が微増
裁判所の業務停止影響・債権残高の鈍化を除く、延滞債権残高率：0.85%

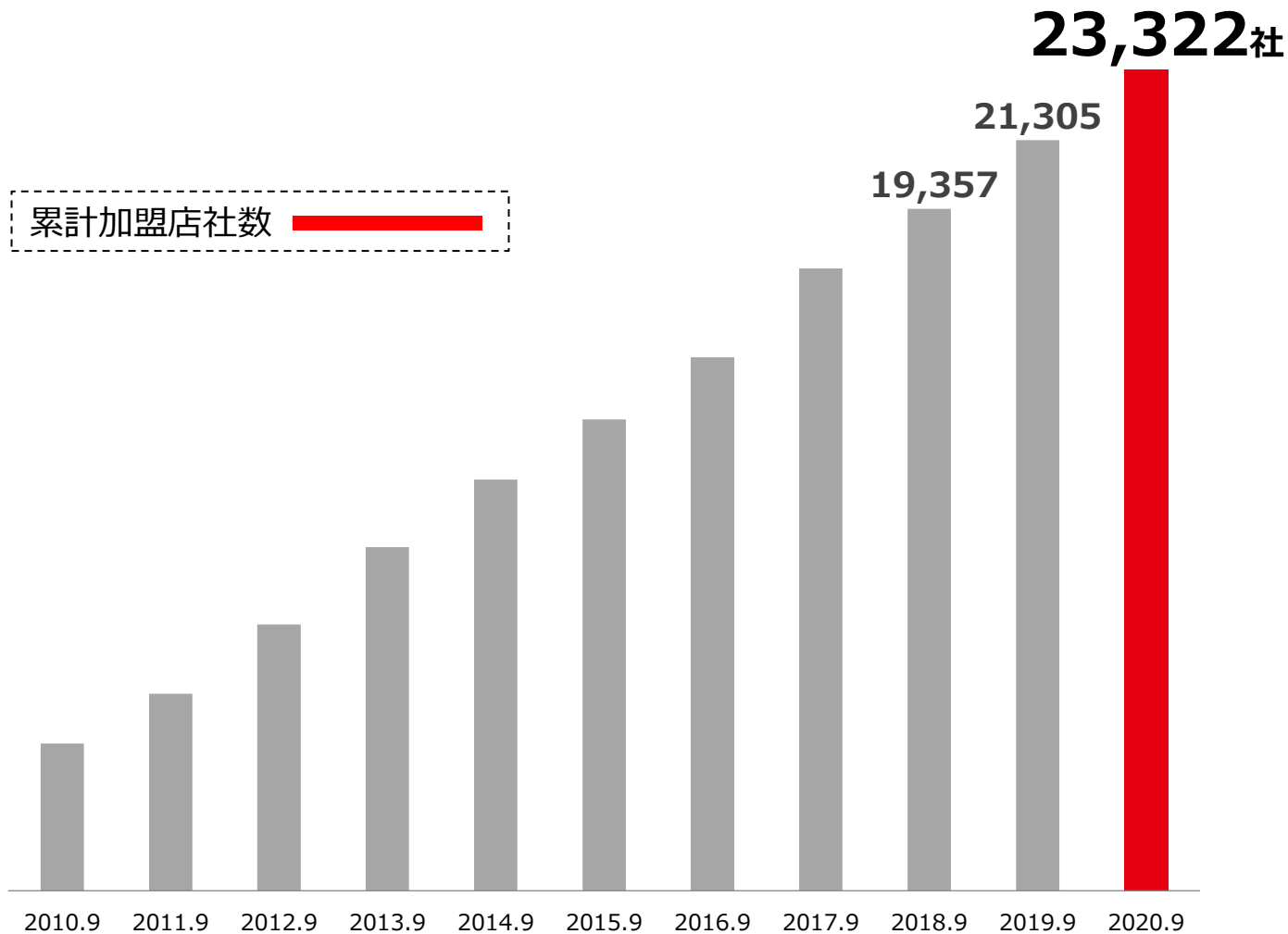
戦略

- 初期延滞解消により将来的な長期延滞を抑制
初期延滞解消率：自社レコードを更新
- 今期グループインした中央債権回収(株)と共同で回収活動を実施

(注) 1.クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していない金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。
2.延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット債権残高に対し、延滞月数が3か月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。債権回収指標定義の見直しをした2013年3月期以降の実績を記載しており、プレミア(株)の実績です。

クレジット加盟店社数

(単位：社)



クレジット加盟店社数 前年同期比 109.5%

増減要因

- 2Qよりオート新規加盟店の開拓を再開
今後は新規契約先の稼働促進にシフト

※新規契約社数

前年同期比(2Q累計)：77.2%

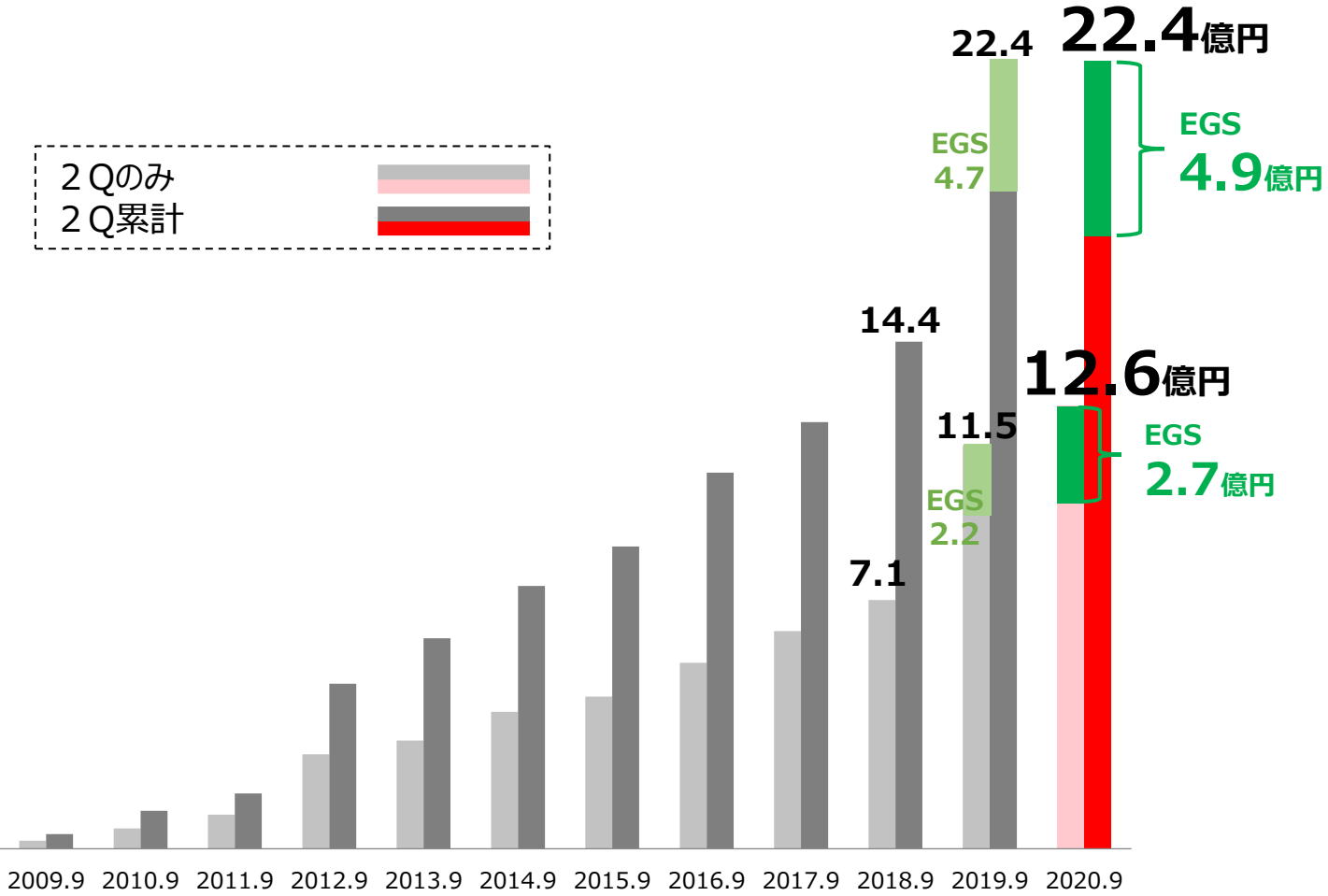
前年同期比(2Qのみ)：142.7%

戦略

- 新規加盟店の稼働促進と併せて既存加盟店への複合取引提案を継続
- コンタクトセンター(アウトバウンド営業)による未稼働先への稼働促進を並行実施
- 加盟店向けポータルサイト「P-Gate」をリリース
各種サービスの一元提供により、加盟店の利便性向上へ

故障保証 取扱高

(単位：億円)



故障保証取扱高 前年同期比

99.9%

プレミア取扱高 前年同期比 98.3%
EGS 取扱高 前年同期比 105.7%

増減要因

- コロナ禍の営業活動自粛からの回復に遅れるも、シェアの大きさから、落ち込み幅は縮小
- 新車供給量の減少による、中古車卸売相場高騰が中古車小売に影響
- 前2Qの特殊要因（消費増税等）により前年比マイナス
特殊要因除く前年同期比：107.8%

戦略

- クレジット等、他商材とのクロスセルにより、加盟店に対する複合的なサービス展開を継続
- 加盟店・お客様の商品理解・認知度向上のため、商品説明動画を用いた営業促進をスタート
- 自動車販売店向け会員制サービス「Premium Club」にて限定プランを展開、会員数拡大へ

(注) 1. EGSとは、EGS(株) (2019年4月に子会社化した故障保証会社) のことをいいます。
2. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額であり、2019年4月より、プレミア(株)の実績にEGS(株)の実績を含めた値です。

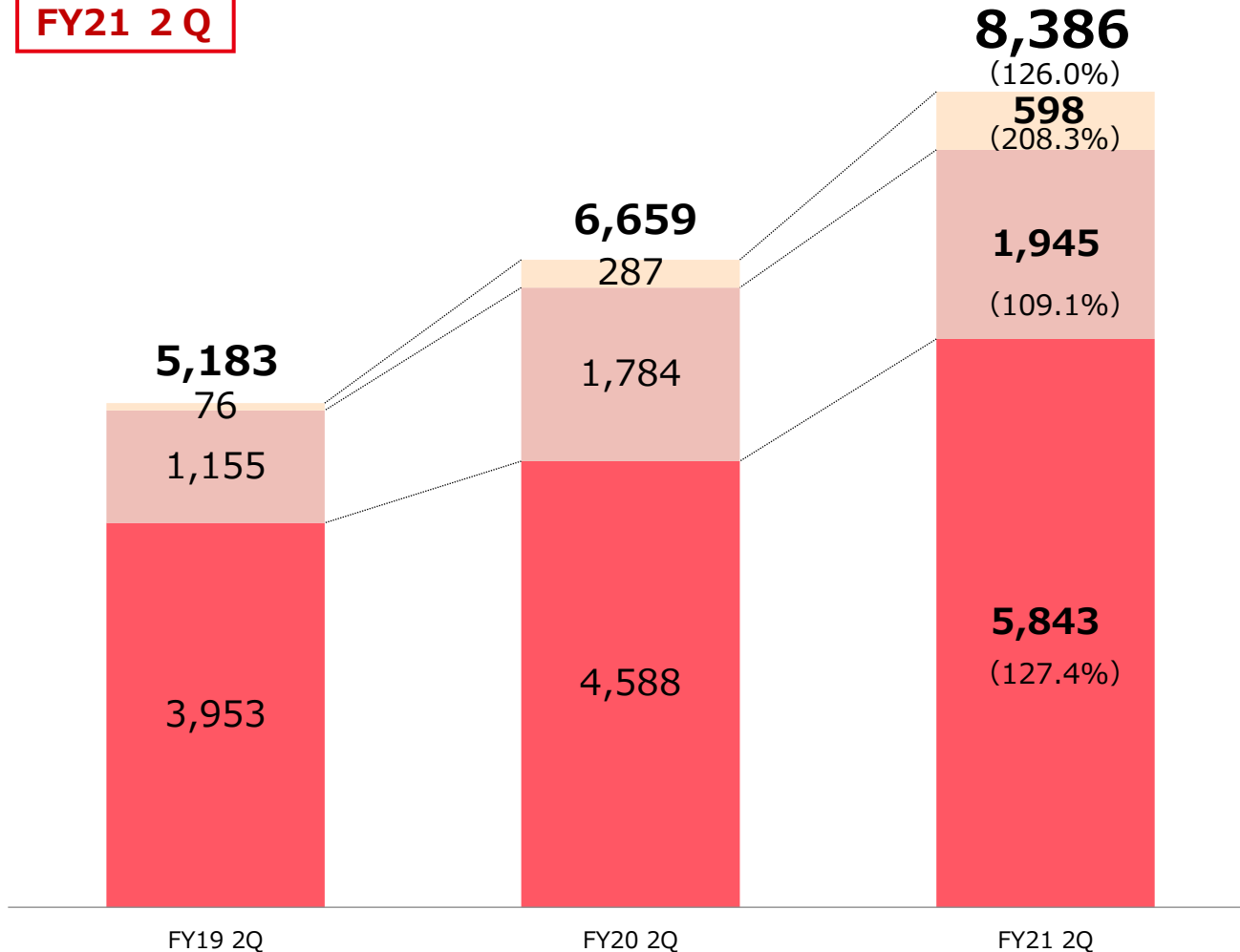
事業別営業収益（PL）の推移

(グラフ単位：百万円)
(グラフカッコ内：前年同期比)



- ✓ 営業収益は、83.9億円（前年同期比 126.0%）
- ✓ オートモビリティサービス事業の収益が大幅UP、営業収益構成比で今期10%程度となる見込み

FY21 2Q



各分野の収益面における特徴

- **ファイナンス事業、故障保証事業は残高を積み上げるアセットビジネス**
 - ① 安定的な収益計上
 - ② 景気や季節性の影響を受けにくい

※将来収益 280.0億円をBSにストック
クレジット 230.9億円、故障保証 47.1億円、その他 2.0億円
- **新規事業であるオートモビリティサービス事業はFee事業を中心に今後も大きく伸長**

- **ファイナンス事業 (クレジット・リース・サービサー)**
- **故障保証事業**
- **オートモビリティサービス事業 (自動車整備・ソフトウェア販売・部品販売)**

※速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。

営業費用（PL）の推移

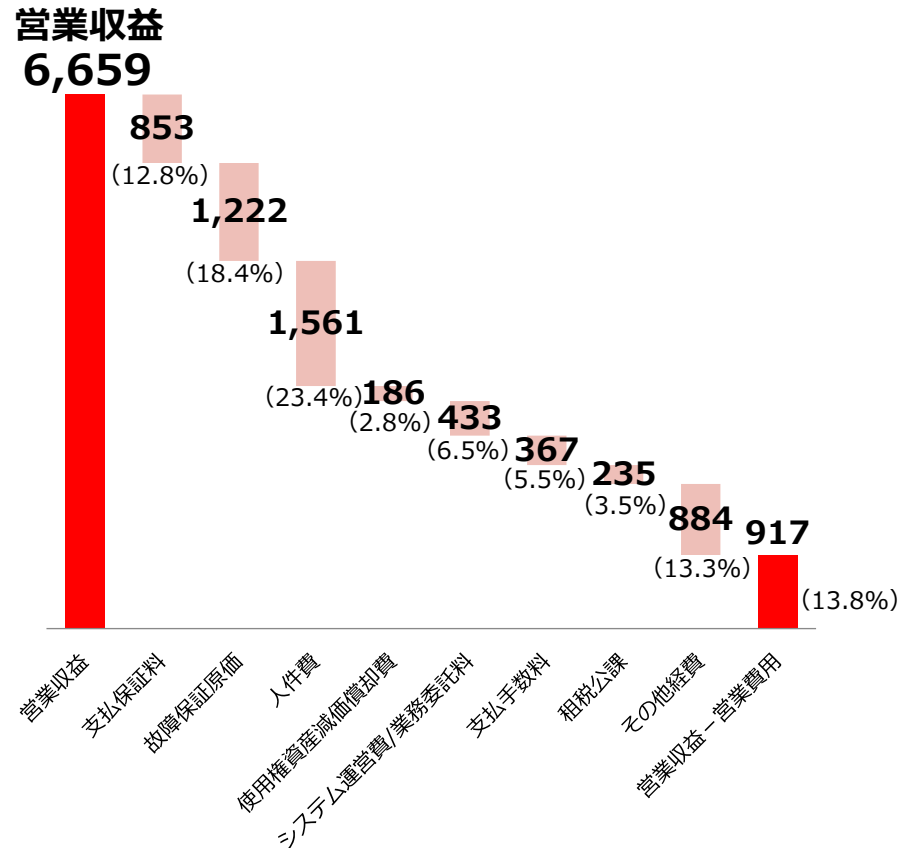
(グラフ単位：百万円)
(グラフカッコ内：対営業収益比率)



- ✓ 営業費用の合計は、69.4億円（前年同期比 120.9%）
- ✓ 子会社3社のグループインにより約4.3億円の費用増加（3社除く営業費用、前年同期比 113.4%）

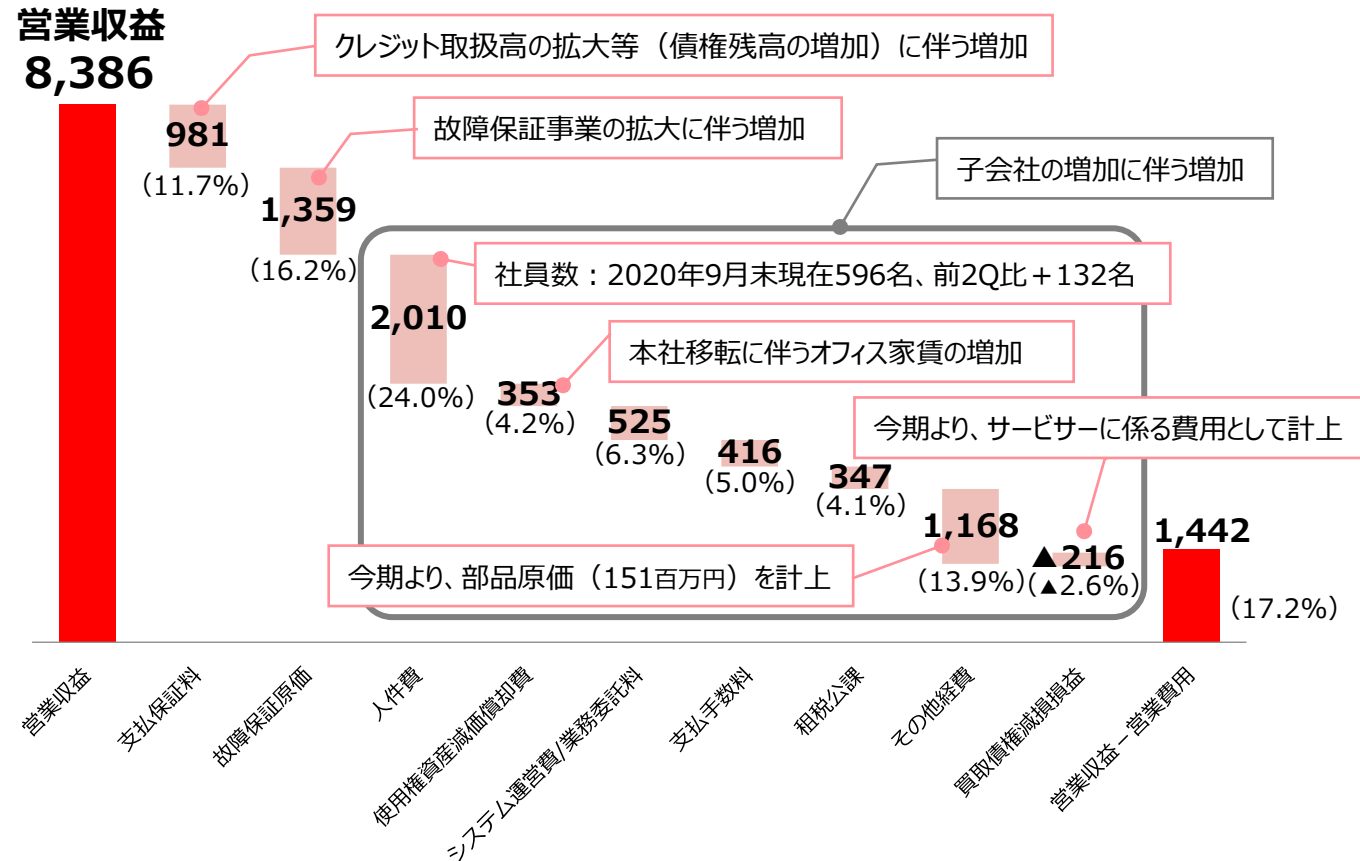
FY20 2Q

営業費用 5,742百万円



FY21 2Q

営業費用 6,944百万円（前年同期比 120.9%）



※速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。

通期業績見通し

(グラフ単位：百万円)



- ✓ 増収増益に向け、収益・利益ともに順調に推移
- ✓ 下期のマーケット成長率は前年マイナス見込みであるも、当社取扱高は前年同期比100%を想定

営業収益

前期

今期

実績
14,016

2Q累計
6,659

予想
17,140

2Q累計
8,386

進捗率
48.9%

FY20

FY21

税引前利益

前期

今期

実績
2,604

2Q累計
2,001

予想
2,865

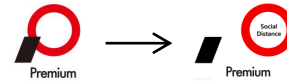
進捗率
69.8%

FY20

FY21

- 2020.08 ● **整備工場「FIX MAN」が埼玉県にオープン**
自動車整備工場向け会員制サービス「FIXMAN Club」の加盟工場から、当社グループのオリジナルブランドである「FIX MAN」の看板を掲げた工場が埼玉県にオープンいたしました。
- 2020.09 ● **GMOあおぞらネット銀行との提携ローン取引開始**
主要事業であるオートクレジットに係る提携ローン契約をGMOあおぞらネット銀行株式会社と締結いたしました。この度の提携により、安定的な資金調達が可能となり、資金調達コストの削減、金利変動のリスクヘッジ、商品力の強化等の効果が期待されます。
- 2020.10 ● **フレックスタイム制の導入**
通勤ラッシュ時の混雑回避による新型コロナウイルス感染のリスク軽減と、社員一人一人の生活環境に合わせた柔軟な働き方を可能とすることで、多様な人財の活躍を目指します。
- 2020.10 ● **プレミアワランティサービス株式会社を設置**
故障保証分野の更なる拡大に注力するため、故障保証事業を展開する国内外のグループ会社を統括する会社として設置いたしました。
- 2020.10 ● **東洋経済オンライン「女性管理職の比率が高い」企業ランキング100(30位)にランクイン**
全社員のより一層の活躍に向け、家庭と仕事を両立しながら十分に能力を発揮できる、「働きがいある職場環境」の創出を目指して、多面的な取組を継続してまいります。
- 2020.10 ● **加盟店向けポータルサイト「P-Gate」オープン**
当社グループが提供する各種サービスをご利用いただけるポータルサイトを加盟店様向けにリリースいたします。加盟店様の利便性が向上するだけでなく、当社グループのサービス取扱いの増加や、システム化による生産性向上が期待されます。
- 2020.11 ● **決算発表開示の前倒しを実施、積極的な情報開示へ**
当2Qより決算開示日程の早期化を実施いたしました。投資家の皆さまが重要視される決算情報を速やかにお届けするために、今後も積極的な情報開示対応に努めてまいります。

②外部環境の影響について

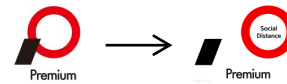


- ✓ 外部環境は、コロナ影響から徐々に**回復傾向**、
当社オートクレジット取扱高はマーケットに反して落ち込むも、**概ね想定通りで推移**
- ✓ コロナによる経済状況悪化を理由とする**支払猶予債権の発生は減少**
- ✓ **手元資金、内部留保ともに十分な余裕を保持**

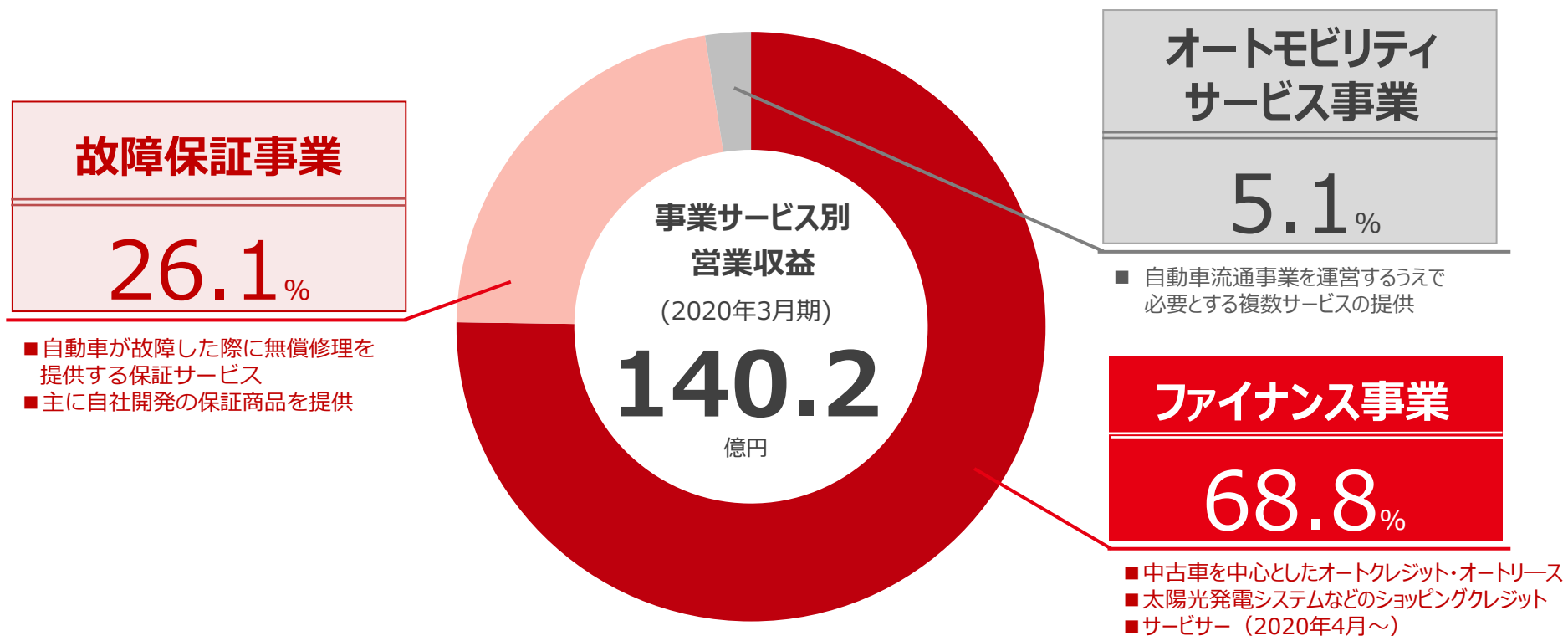
前年同期比		1Qのみ	2Qのみ	
外部環境	新車登録台数	▲31.8%	▲17.2%	
	中古車登録台数	▲ 8.2%	+ 1.6%	
当社状況	オートクレジット取扱高	▲11.6%	▲22.6%	
	オートクレジット粗利率	+ 8.4%	+ 22.3%	
	支払猶予債権 (発生件数・発生金額)	110件 / 172百万円	27件 / 37百万円	
	キャッシュポジション (2020年9月末現在)	現金及び 現金同等物	10,236 百万円 (前年同期比 +88.8%)	9,468 百万円 (前年同期比 +39.5%)
		短期借入枠	13,000 百万円 (前年同期比 +73.3%)	13,000 百万円 (前年同期比 +73.3%)
	内部留保 (2020年9月末現在)	利益剰余金	4,090 百万円 (前年同期比 + 3.3%)	4,620 百万円 (前年同期比 + 8.5%)
将来収益		27,161 百万円 (前年同期比 +20.5%)	27,994 百万円 (前年同期比 +16.5%)	

(注) オートクレジット粗利率とは、クレジット契約金額の総額（取扱高）に含まれる、お客様から受け取る分割払手数料のうち、販売促進費と立替金を調達するコストを引いた金額となります。

③ APPENDIX



社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場第一部
設立	2015年5月25日 (注)2007年、(株)ジー・ワンクレジットサービス(現 プレミア株)設立
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	13,286,390株 2020年9月末時点
資本金	1,634百万円 単体/2020年9月末時点
従業員数	596名 連結/2020年9月末時点 (注)臨時雇用者を除く、グループ従業員数
主な株主	BNYメロン・インベストメント・マネジメント・ジャパン株式会社 : 7.59% Coupland Cardiff Asset Management LLP : 6.99% RUSSELL INVESTMENTS IMPLEMENTATION SERVICES, LLC : 7.16% 株式会社リクルート_4.52% 三菱UFJフィナンシャル・グループ_4.21% (2020年10月末時点 大量保有報告等を参照)
グループ内容	<ul style="list-style-type: none"> ・国内におけるファイナンス ・故障保証商品の開発、販売 ・オートモビリティサービスの展開 ・海外(タイ王国等)におけるクレジットコンサルティング事業、故障保証事業



ストック型ビジネス

クレジット・故障保証とも、利益を繰延計上する
ストック型の収益構造

安定成長の見込める
ビジネスモデル

キャッシュリッチ

クレジット・故障保証とも、支払資金・保証料の
「一括前受け」によりキャッシュポジションが安定的

良好なキャッシュ・フローの
ビジネスモデル

	FY20 (2020年3月31日)	FY21_1Q (2020年6月30日)	FY21_2Q (2020年9月30日)	前期末比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	6,286	10,236	9,468	150.6%	92.5%
金融債権	20,011	21,551	21,554	107.7%	100.0%
その他の金融資産	6,408	7,321	7,905	123.3%	108.0%
有形固定資産	3,092	3,551	3,464	112.0%	97.6%
無形資産	5,950	5,988	5,950	100.0%	99.4%
のれん	3,958	3,958	3,958	100.0%	100.0%
持分法投資	1,224	1,297	1,262	103.1%	97.3%
繰延税金資産	-	9	22	-	246.4%
保険資産	2,965	3,289	3,334	112.5%	101.4%
その他の資産	8,309	6,039	6,624	79.7%	109.7%
資産合計	58,203	63,239	63,541	109.2%	100.5%
負債の部					
金融保証契約	22,063	22,534	23,088	104.6%	102.5%
借入金	16,421	20,892	19,618	119.5%	93.9%
その他の金融負債	6,340	5,724	5,488	86.6%	95.9%
引当金	327	293	293	89.8%	100.1%
未払法人所得税	386	207	561	145.4%	271.4%
繰延税金負債	1,355	1,580	1,505	111.1%	95.2%
その他の負債	5,999	6,134	6,591	109.9%	107.5%
負債合計	52,891	57,365	57,144	108.0%	99.6%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,534	1,549	1,569	102.3%	101.3%
資本剰余金	1,260	1,266	1,267	100.5%	100.0%
自己株式	△ 1,201	△ 1,201	△ 1,201	100.0%	100.0%
利益剰余金	3,587	4,090	4,620	128.8%	113.0%
その他の資本の構成要素	62	104	65	104.4%	62.0%
親会社の所有者に帰属する持分合計	5,242	5,810	6,320	120.5%	108.8%
非支配持分	70	65	77	110.3%	119.3%
資本合計	5,312	5,874	6,397	120.4%	108.9%
負債及び資本合計	58,203	63,239	63,541	109.2%	100.5%

PL (連結累計期間)

(単位：百万円)



連結累計期間	FY20_1Q~2Q (2019年4月1日~ 2019年9月30日)	FY20 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	FY21_1Q~2Q (2020年4月1日~ 2020年9月30日)	前年同期比	前期末比
営業収益	6,659	14,016	8,386	126.0%	59.8%
その他の金融収益	105	5	3	3.2%	62.1%
持分法による投資利益	-	-	-	-	-
その他の収益	2,095	2,110	625	29.8%	29.6%
収益合計	8,859	16,132	9,015	101.8%	55.9%
営業費用	5,742	12,458	6,944	120.9%	55.7%
持分法による投資損失	20	844	46	236.2%	5.5%
その他の金融費用	43	151	12	28.5%	8.2%
その他の費用	2	75	11	642.0%	14.4%
費用合計	5,807	13,528	7,014	120.8%	51.8%
税引前当期(四半期)利益	3,052	2,604	2,001	65.6%	76.9%
法人所得税費用	1,202	1,152	680	56.6%	59.1%
当期(四半期)利益	1,850	1,452	1,321	71.4%	91.0%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,845	1,466	1,313	71.2%	89.6%
非支配持分に帰属する利益	5	△14	8	151.0%	△54.7%

PL (連結累計期間)

(単位：百万円)



連結累計期間	FY20_1Q~2Q (2019年4月1日~ 2019年9月30日)	FY20 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	FY21_1Q~2Q (2020年4月1日~ 2020年9月30日)	前年同期比	前期末比
営業収益					
金融収益	3,860	8,158	4,725	122.4%	57.9%
故障保証収益	1,784	3,661	1,945	109.1%	53.1%
その他手数料売上	612	1,300	935	152.9%	72.0%
ソフトウェア売上	193	349	223	115.1%	63.7%
保険履行収益	102	189	88	86.1%	46.2%
その他	108	358	470	434.9%	131.3%
合計	6,659	14,016	8,386	126.0%	59.8%

連結累計期間	FY20_1Q~2Q (2019年4月1日~ 2019年9月30日)	FY20 (2019年4月1日~ 2020年3月31日)	FY21_1Q~2Q (2020年4月1日~ 2020年9月30日)	前年同期比	前期末比
営業費用					
金融費用	47	102	68	145.8%	66.9%
支払保証料	853	1,854	981	115.0%	52.9%
金融資産の減損損失	23	79	△ 216	△ 935.9%	△ 271.4%
従業員給付費用	1,561	3,307	2,010	128.7%	60.8%
故障保証原価	1,222	2,421	1,359	111.3%	56.1%
システム運営費	322	611	350	108.5%	57.3%
減価償却費	56	151	129	230.9%	85.8%
償却費	129	262	134	104.4%	51.2%
使用権資産減価償却費	186	442	353	189.3%	79.7%
租税公課	235	576	347	147.7%	60.3%
支払手数料	367	811	416	113.3%	51.3%
地代家賃	19	38	29	148.9%	75.8%
業務委託料	111	325	175	158.0%	53.9%
その他営業費用	610	1,479	807	132.3%	54.6%
合計	5,742	12,458	6,944	120.9%	55.7%

PL (連結会計期間)

(単位：百万円)



連結会計期間	FY20_2Q (2019年7月1日～ 2019年9月30日)	FY21_1Q (2020年4月1日～ 2020年6月30日)	FY21_2Q (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益	3,510	4,022	4,365	124.3%	108.5%
その他の金融収益	98	38	1	0.8%	2.2%
持分法による投資利益	19	13	-	0.0%	0.0%
その他の収益	31	613	12	38.9%	1.9%
収益合計	3,658	4,686	4,377	119.7%	93.4%
営業費用	2,958	3,484	3,460	116.9%	99.3%
持分法による投資損失	-	-	25	-	-
その他の金融費用	11	19	63	596.6%	325.9%
その他の費用	1	3	8	997.7%	319.2%
費用合計	2,969	3,506	3,556	119.7%	101.4%
税引前当期（四半期）利益	688	1,180	822	119.4%	69.6%
法人所得税費用	382	401	279	73.1%	69.6%
当期（四半期）利益	306	779	542	177.3%	69.6%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	300	784	530	176.7%	67.6%
非支配持分に帰属する利益	6	△ 5	12	202.9%	△ 252.5%

PL (連結会計期間)

(単位：百万円)



連結会計期間	FY20_2Q (2019年7月1日～ 2019年9月30日)	FY21_1Q (2020年4月1日～ 2020年6月30日)	FY21_2Q (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	1,982	2,350	2,375	119.8%	101.1%
故障保証収益	907	957	988	108.9%	103.2%
その他手数料売上	332	455	480	144.7%	105.4%
ソフトウェア売上	125	71	152	121.7%	214.0%
保険履行収益	102	-	88	86.1%	-
その他	63	188	282	449.8%	150.1%
合計	3,510	4,022	4,365	124.3%	108.5%

連結会計期間	FY20_2Q (2019年7月1日～ 2019年9月30日)	FY21_1Q (2020年4月1日～ 2020年6月30日)	FY21_2Q (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	19	36	32	168.5%	87.9%
支払保証料	470	486	495	105.3%	101.7%
金融資産の減損損失	△ 11	△ 40	△ 175	1567.3%	434.5%
従業員給付費用	818	991	1,020	124.7%	102.9%
故障保証原価	633	644	716	113.1%	111.2%
システム運営費	170	170	179	105.5%	105.2%
減価償却費	33	64	65	196.4%	102.4%
償却費	64	65	69	107.6%	107.2%
使用権資産減価償却費	94	186	166	175.9%	89.1%
租税公課	123	173	174	141.6%	100.4%
支払手数料	189	206	211	111.7%	102.6%
地代家賃	11	13	16	143.9%	125.1%
業務委託料	64	79	96	150.3%	121.0%
その他営業費用	281	411	396	140.8%	96.2%
合計	2,958	3,484	3,460	116.9%	99.3%